

## 施工業者様用

### 〈施工説明書〉

# スライディングドア

このたびはウッドワンの商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

施工前にこの施工説明書をよくお読みいただき、安全に正しく施工されるようお願い致します。

製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害・財産への損害を未然に防止するために、「安全上のご注意」をよくお読みください。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

## 安全上のご注意 安全に正しくお使いいただくために必ずお守りください



### 注意

施工に際して以下の注意が守られない場合、施工に従事される方の傷害並びに住まれる方の傷害または財産上の損害が生じるおそれがあります。確実にお守りください。



禁止

#### ・屋内専用。

屋外や浴室に使用すると、湿気、雨濡れ、強い太陽光などにより腐れ、割れなどの劣化が進み、脱落の原因となり危険です。



必ずおこなう

#### ・開梱後は換気を行なう。

本製品はホルムアルデヒド・VOC(揮発性有機化合物)対策品です。ただし、新築・リフォーム直後や夏場など高温の環境下ではホルムアルデヒド・VOCが室内に滞留しやすく、健康被害につながるおそれがありますので、施工中、使用中は適宜換気を行うようにしてください。

#### ・レバーハンドル用取り付けビスは確実に締める。

レバーハンドル取り付け用のビスの締め忘れ、ゆるみ等による開閉はレバーの脱落の原因になりますので必ず取り付けビスは確実に締めてください。

## 施工終了後

### 養生

当て傷・擦り傷等がつかないように保護紙等でカバーして養生してください。粘着テープなどは直接商品に貼り付けないようにしてください。

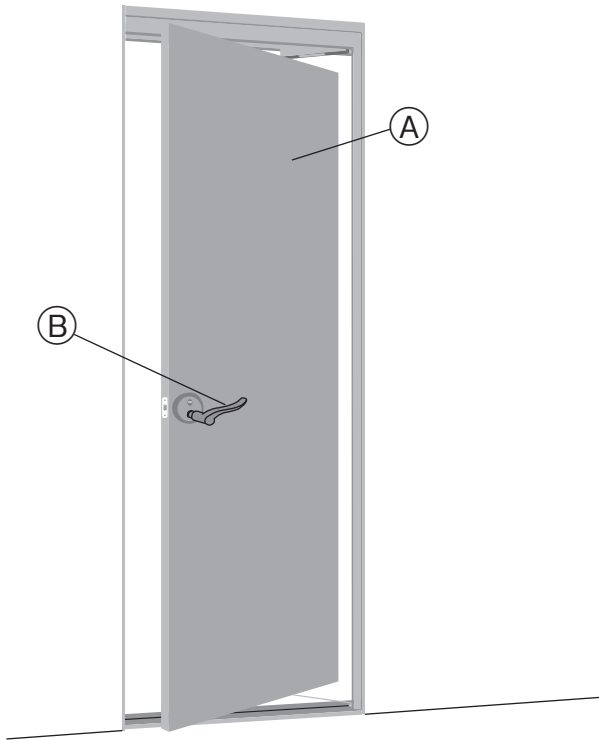
### お手入れのしかた

枠材が汚れている場合は、水で薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布を固くしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン・アルコール・シンナー・塩素系洗剤などの溶剤を使用すると変色・変質しますので、絶対に使用しないでください。

# 開梱

梱包を開いたらドア本体および下表の付属品に不足および問題がないかどうかを確認してください。

## ■全体図



## ■梱包内訳表

A ドア本体			
部材名	ドア	施行 説明書	使用 説明書
入数	1枚	1部	—
備考 (部材品番等)	錠ケース 取付済	—	必ずお施主様に 渡してください

B レバーハンドル(別売品)		
部材名	レバー ハンドル	3mm レンチ
入数	1セット	1本
備考 (部材品番等)	—	必ずお施主様に 渡してください

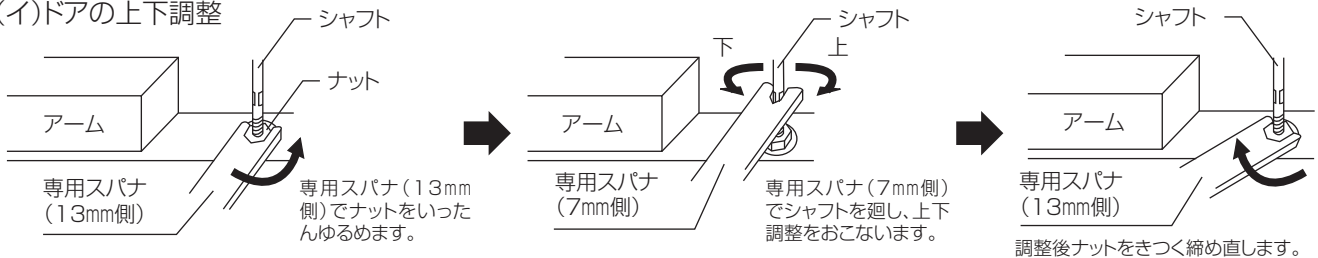
### お願い

- ・施工完了までは、立て掛けたりすると反りの発生原因となりますので、水平になるように保管してください。
- ・照明灯・ストーブなどを近づけると熱により変色しますので、開梱後施工完了まで1メートル以上離してください。

## ■ドアの上下およびラッチ受けの調整

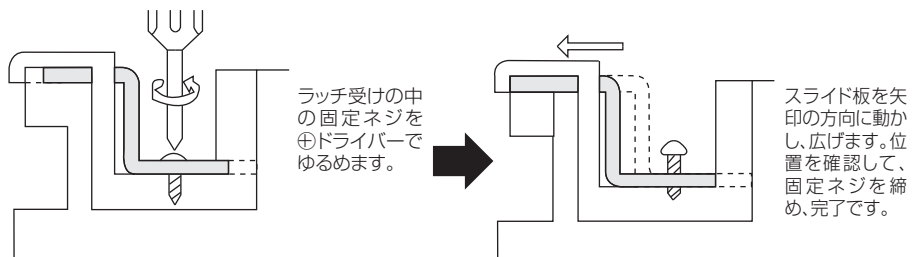
ドアと鴨居の間が適切になるようにドアを調整してください。また、ドアがガタつく場合、あるいはラッチが入りきらない場合はラッチ受けの調整機能を使って建て付けの補正を行ってください。

### (イ) ドアの上下調整



### (ロ) ラッチ受けの調整

#### 調整ラッチ受け

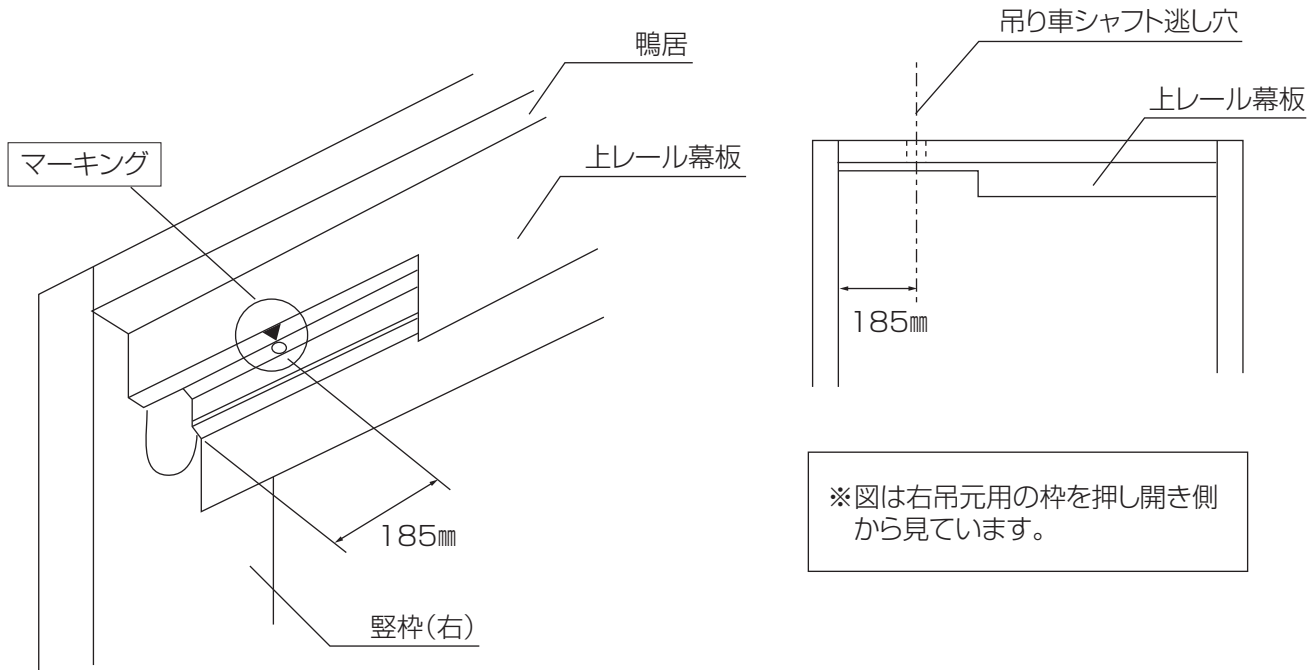


# 施工手順

## ■ 事前準備

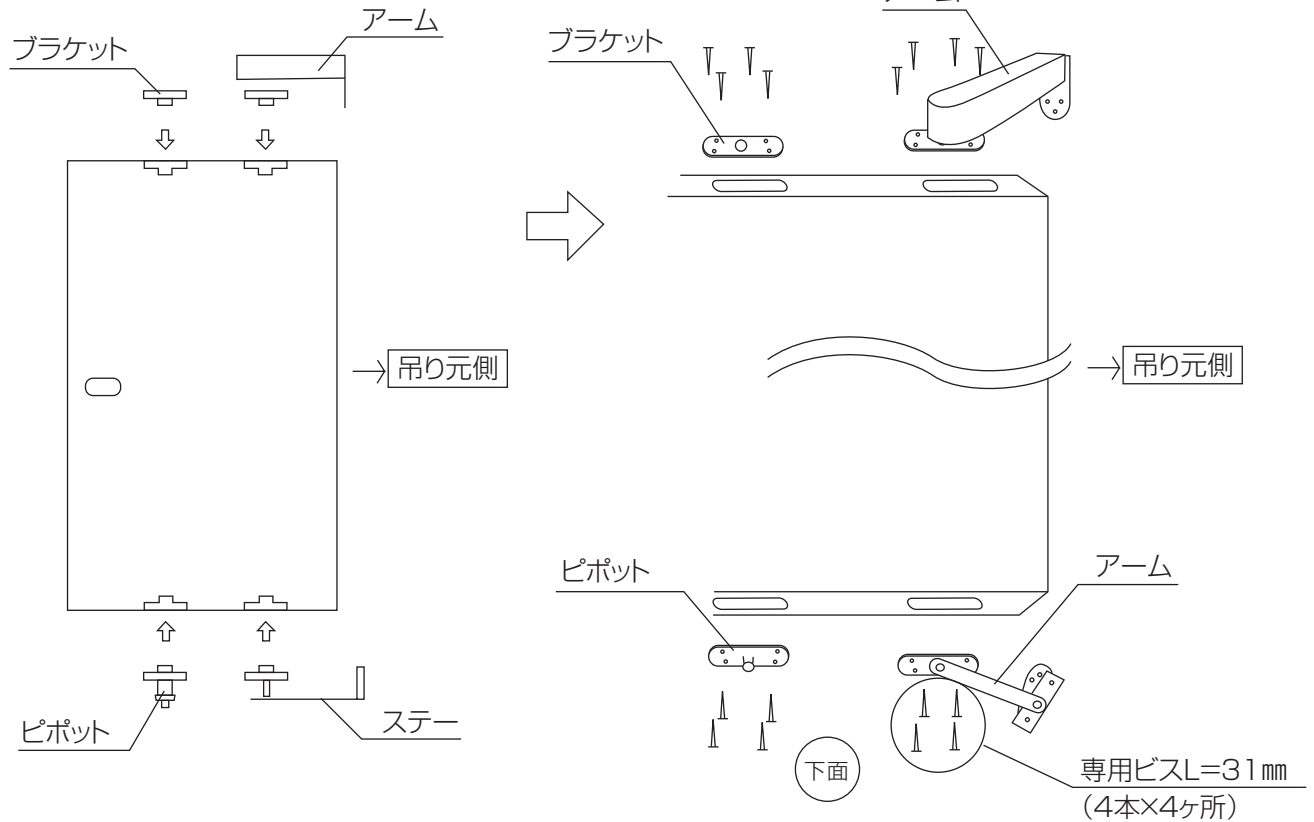
(1) 上レールにマーキングする。(マーキングは養生テープ等を切り貼りしてください。)

**Point** 扉を吊り込む際の目印となります。



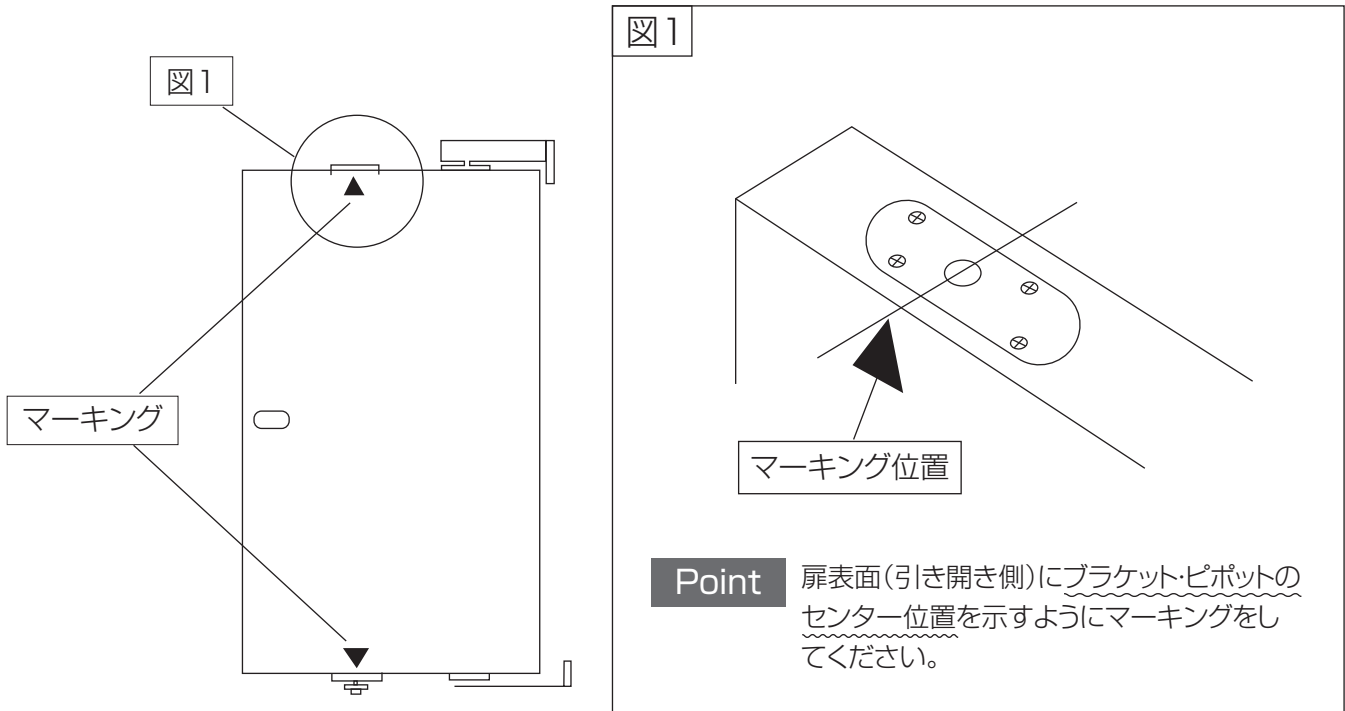
(2) 扉に金具を取り付ける。

扉加工穴に金具を専用ビスで固定します。



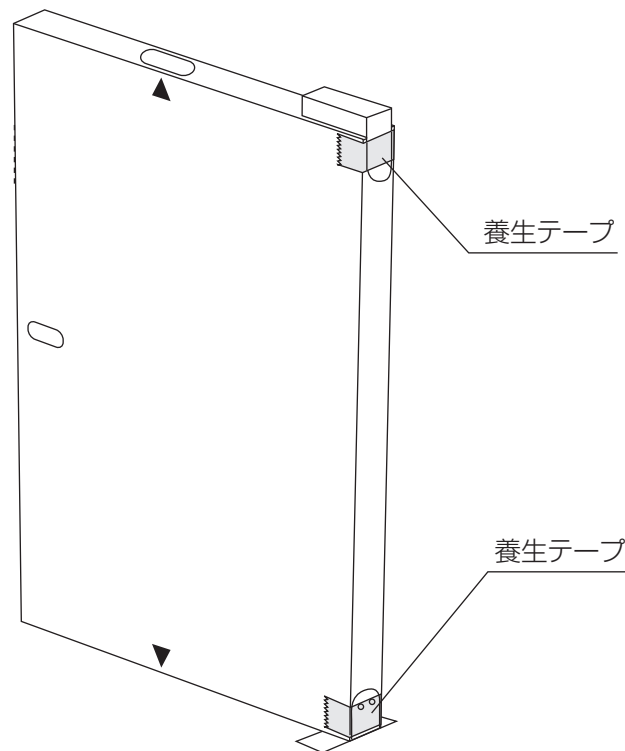
(3) 扉表面にマーキングをする。(マーキングは養生テープを切り貼りしてください。)

**Point** 扉を吊り込む際の目印となります。



(4) アームとステーを養生テープで固定する。

**Point** 扉を吊り込む際のキズ防止にもなります。

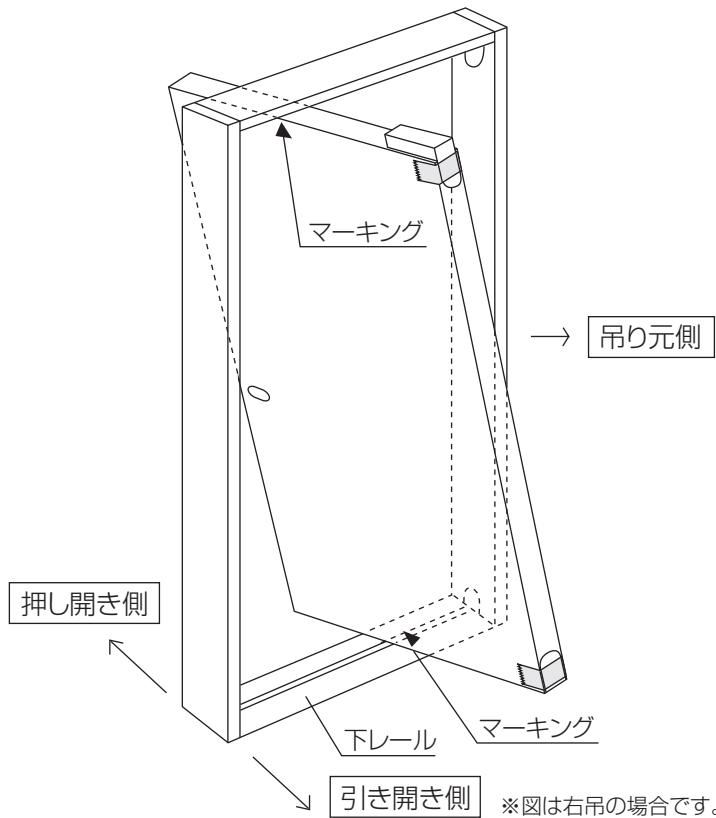


## ■扉の吊り込み

(1) 吊り車を鴨居レールに貼ったマーキングの位置に移動させる。

(2) 扉を斜めにして枠内に入れる。

扉表面に貼ったピボット位置を示すマーキングを目印にしてピボットをレールにはめます。



### お願い

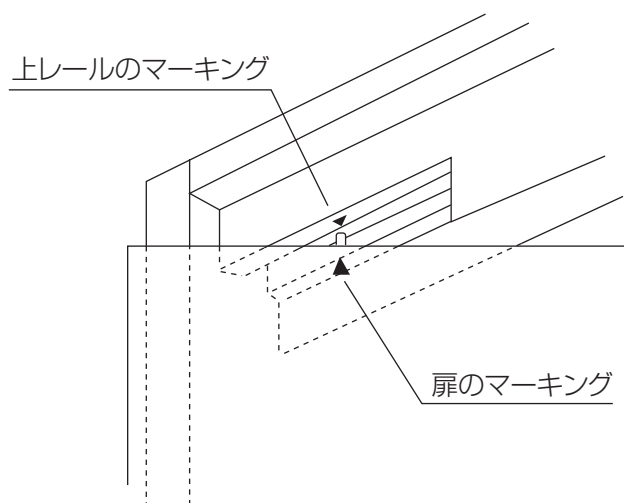
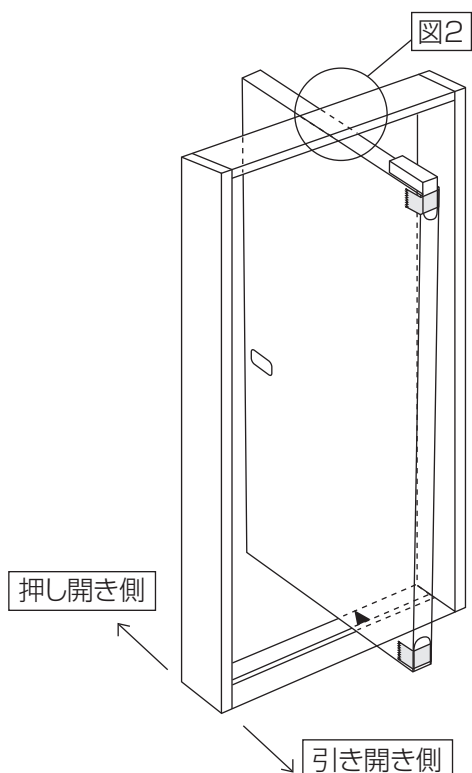
扉と上枠(上レール)とのクリアランスが小さい為、扉をおこす際上レールに扉を当ててキズつけない様、ご注意ください。

※吊り込み後は、上レールの養生テープをはがしてください。

(3) 扉を垂直に立てる。

### Point

吊り車のシャフトをシャフト逃し穴のところまで上へ逃がして扉に貼ったブラケット位置を示すマーキングに合わせます。

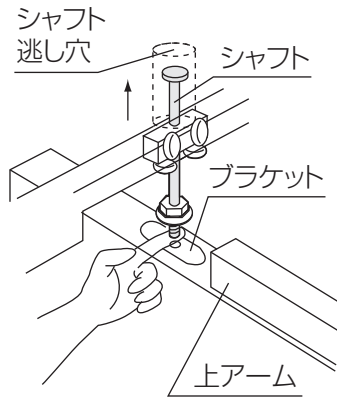


※押し開き側から見ています。

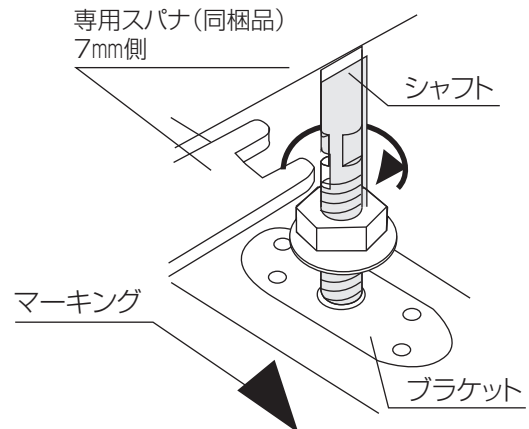
※図は右吊の場合です。

図2

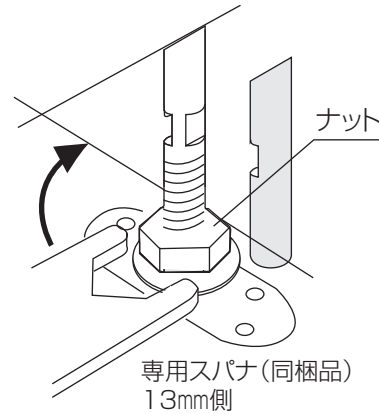
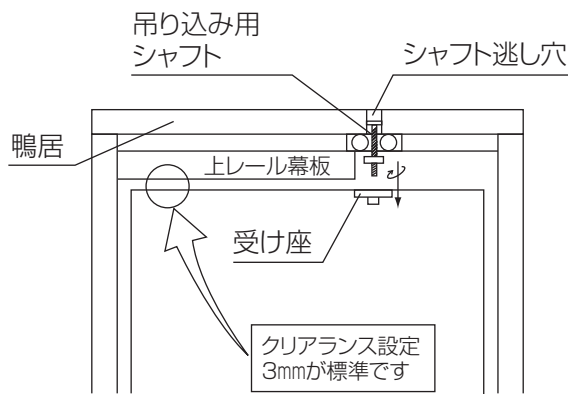
〈1〉シャフトをシャフト逃し穴のところで上へ逃がして、ブラケットと位置を合わせます。



〈2〉シャフトをブラケットに同梱のスパナでねじ込んでいき扉を吊り上げていきます。

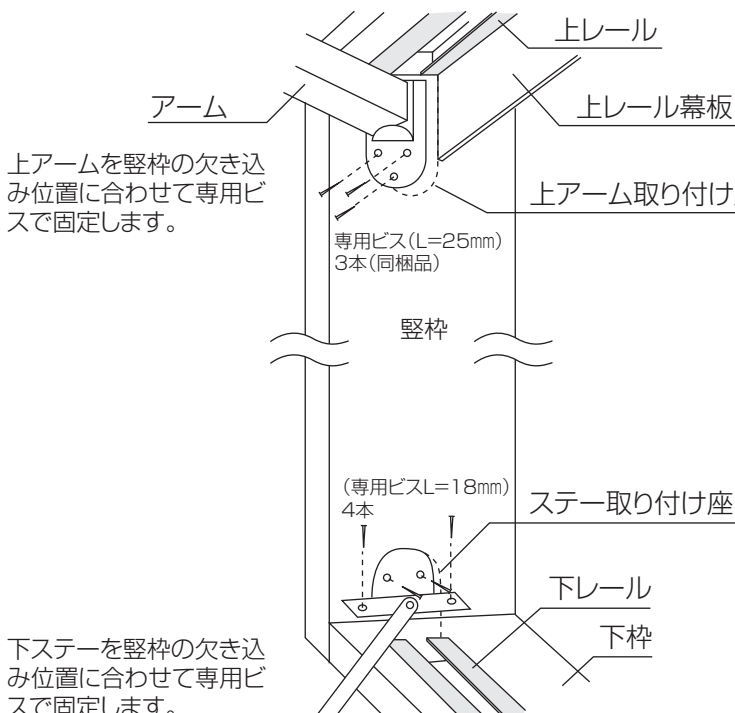


〈3〉上レール幕板と扉とのスキマが3mmになるまで吊り上げたら、専用スパナの13mm側でナットを強く締めこんでください。



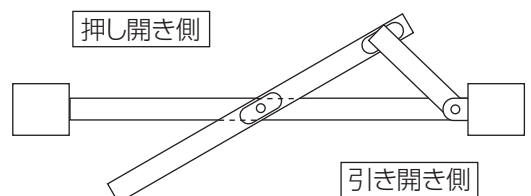
## ■ 枠材へのアームとステーの固定

- (1) 扉に貼ったアームとステーを固定する養生テープをはがす。
- (2) アームとステーを縦枠に固定する。



### Point

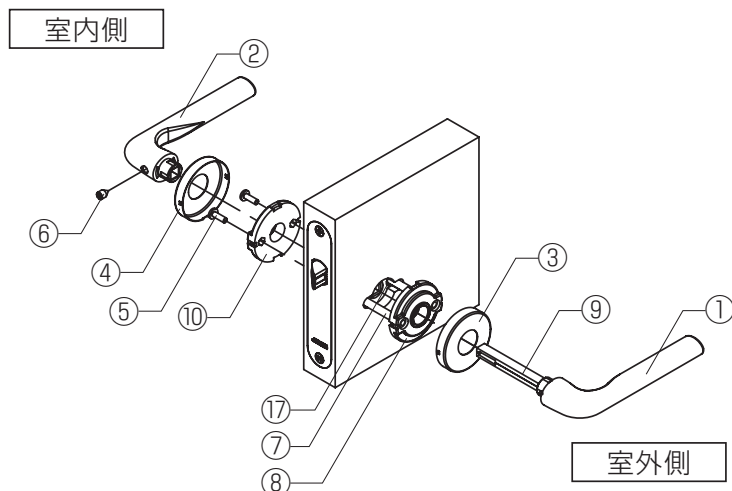
- ※アームとステーを固定する時に、枠材へのアームとステーの固定の(1)ではがした養生テープを用いて取り付け座に仮固定すると作業しやすくなります。
- ※ステー、アームの順で固定をすると作業がしやすくなります。
- ※下図の状態引き開き側から固定すると作業がやりやすくなります。



## ■レバーハンドルの取り付け

間仕切錠付が標準仕様となります。

### ●丸座の場合

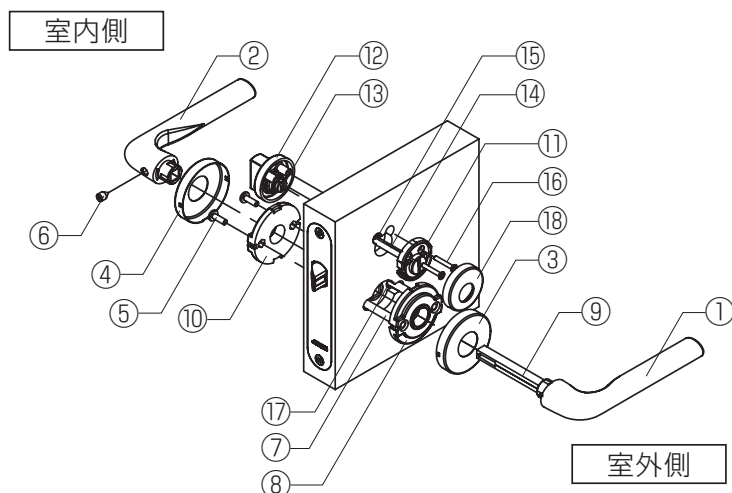


空錠

#### レバーハンドルの取付

- (1)外部ハンドル座⑧に取付ネジ柱⑦を2個挿入し、化粧カバー③をかぶせ、切り込み穴⑦に挿入してください。
- (2)室内側より内部ハンドル座⑩をはめ込み、座取付ビス⑤で仮固定してください。  
次にレバーハンドル①、②をセットし、レバーハンドルが正常に作動するかを確認したうえ、座取付ビス⑤を本締めしてください。
- (3)室内側より、化粧カバー④をかぶせて、レバーハンドル②をハンドル固定ビス⑥にて固定してください。

## ■間仕切錠、表示錠、シリンダー錠の取付



間仕切錠、表示錠、シリンダー錠

#### 間仕切錠、表示錠、シリンダー錠の取付

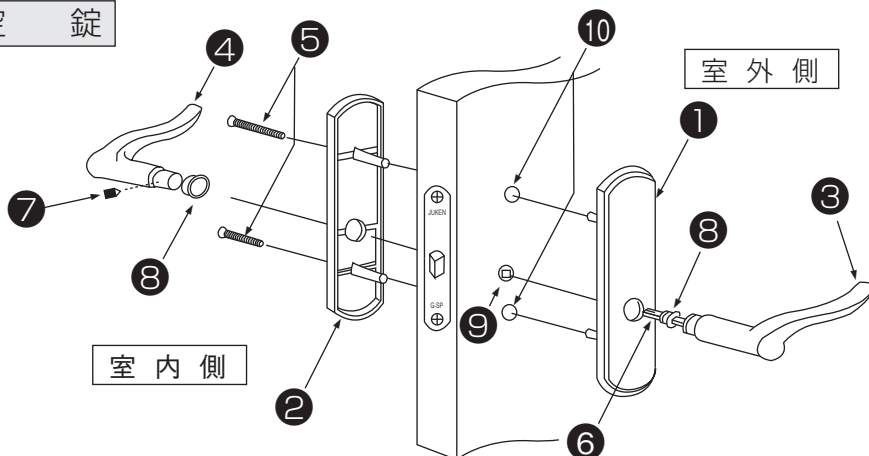
- (1)鍵座⑪の連結板⑭をハブ穴⑮に挿入してください。
- (2)サムターン穴⑬にハブ穴⑮を貫通してきた連結板⑭を挿入しサムターン座取付ビス⑯で固定し、正常作動するかを確認してください。  
シリンダー錠はキーを抜いた状態で取り付けてください。
- (3)操作がスムーズであればカバー⑱をはめ込んでください。

部材・部位名

部材・部位名							
①	レバーハンドル(室外側)	⑥	ハンドル固定ビス	⑪	鍵座	⑮	ハブ穴
②	レバーハンドル(室内側)	⑦	取付ネジ柱	⑫	サムターン座	⑯	サムターン座取付ビス
③	化粧カバー(室外側)	⑧	外部ハンドル座	⑬	サムターン穴	⑰	切り込み穴
④	化粧カバー(室内側)	⑨	角芯	⑭	連結板	⑱	カバー
⑤	座取付ビス	⑩	内部ハンドル座				

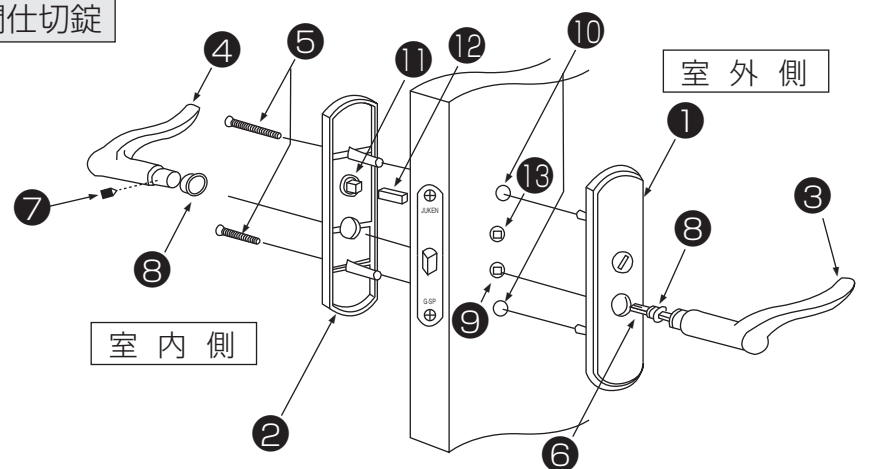
●長座の場合

空 錠



- レバーハンドルの取り付け
- (1) 室外側より外部ハンドル座①を切欠き穴⑩に挿入してください。
  - (2) 室内側より内部ハンドル座②をはめ込み、ハンドル座取り付けビス⑤で締め付けてください。
  - (3) レバーハンドル③を角芯穴⑨に通して、反対側のレバーハンドル④を角芯⑥と合わせて、取り付けビス⑦で締め付けてください。(ナイロンワッシャ⑧のセット忘れのないようご注意ください。)

間仕切錠



部材・部位名	
①	外部ハンドル座(室外側)
②	内部ハンドル座(室内側)
③	レバーハンドル(室外側)
④	レバーハンドル(室内側)
⑤	ハンドル座取り付けビス
⑥	角芯
⑦	取り付けビス
⑧	ナイロンワッシャ
⑨	角芯穴
⑩	切欠き穴

**注意**

レバー脱落防止の為、レバーハンドル用取り付けビスは確実に締めてください。ガタつきなどの原因となりますのでインパクトドライバーを使用しての施工はご遠慮ください。

■扉の開閉のチェック

- (1) 扉をゆっくり閉じて枠・金具との干渉がないことを確認する。
- (2) 吊り車のネジを締めてロックする。

特にステーと扉の下部の干渉に注意してください。

